

私はこの中より3つの事について思います。それは会員増強、次の世代、ロータリー財団の3つです。会員増強については北クラブは、とりあえず80名を目標にさせていただきたいです。新しい人、新しいタイプの人が入ればクラブの活性化にも良いと思います。次の世代造ると言う事は、ロータリーの将来を考える、10年・20年という相当先の事を考えると言う事ですから、自分達の次の世代というものを対象に取り上げて、その人達に対する働きかけをすると言う事です。ロータリーがインターアクト・ローターアクトと言う制度を取り入れたのは将来のロータリアンの養成を考えていると思います。又更に一般の青年とロータリアンが話しをする対話の場を造るべきだとも思います。2～3世代先まで準備して行くと言う事なのです。そして最後は財団、お金なのです。財団を大きくして、人道的・文化的な奉仕活動が全世界に渡って実施できる事を私達が考えると言う事です。その為には寄付をすると言う事です。日本では東京以西の方が寄付が多いのです。北海道・東北は少ないのです。その中でクラブ格差も有ります。それには感心を高める事が必要です。寄付は最も手軽な奉仕活動です。経済力とか色々な原因は有りますので一律と言うことではないのですが、低いなら低いなりに少しでも高めていくと言う努力が必要だと思います。それによって成長が高められると思います。お金を出す事だけが決して奉仕活動ではありませんが、その辺の事も御了承していただきまして、ロータリーに対して御声援をお願い致しまして、本日の私の挨拶と致します。

◎ 出席報告

会 員 数	67名	出 席 率	函 館 北	7月10日	90.77%
出 席	40名		函 館 東	7月9日	91.58%
欠 席	27名		函 館	7月4日	89.29%
他クラブ出席	19名		函館五稜郭	7月5日	100.00%
出席合計	59名		函館亀田	7月8日	92.73%
除 外 者	2名				

次回・8月7日 「我が町を語る」  
プログラム 七飯町長 水嶋 清氏



The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

# 函館北ロータリークラブ会報

ルイス・ビセンテ・ジアイ 1996～97年度 国際ロータリー会長テーマ

築け未来を 一行動力と先見の眼で。

Build the future  
with action and vision



7月31日会員卓話 加藤 清郎 会員

《第1596回例会》 第6号 8月7日(水)

本日のプログラム

「我が町を語る」

七飯町長 水嶋 清氏

★会 長 西尾昌一

★幹 事 佐々木公和

例会場：函館国際ホテル 〒040 函館市大手町5-10 TEL 23-5151  
例会日：毎週水曜日 12:30～13:30 事務所：函館市大手町5-10 二子ビル3階 23-3870

1996～1997 &lt;第1595回例会&gt; 第 5 号

7月31日の記録

◎司 会 西尾 昌一 会長 ◎斉 唱 我等の生業

◎ビジター 函館R.C. 澄 信一 君・川端久雄君・坂 寿一郎君・土橋弘樹君  
・大口正治君・森川順治君、函館東R.C. 佐竹千明君、函館五稜郭R.C. 大日向豊吉君・能戸 彰 君

◎会長報告 西尾 昌一 会長

- 先週は、ガバナーの公式訪問で皆様の御協力のお陰で無事終了いたし、有難うございました。ガバナーを迎えてのアッセンブリーで申し上げましたが、ガバナーが体調を崩している事を御報告いたしました。先週同業の会議の際、ガバナーが5回目の公式訪問の後倒れられ4日程入院なさったとのお話しを以前小樽R.C.の会長をしておられた方よりお聞きしました。ガバナーの御健康を陰ながらお祈りいたします。
- 7月27日に、和歌山城南R.C.の方が来函され、川村会員、その他の方に御足労願いました。9月には10名程で表敬訪問にお出になるそうです。

㊦上磯・大野地区新R.C. 結成について 森 秀樹 会員

皆様、既に御存知の事でしょうが、スポンサークラブは函館五稜郭R.C.で、特別代表は滝野敏弥氏で、9月末から10月中に発足の予定です。

松浦地区拡大委員の熱意で函館大学の神田 弘 先生が核になり、現在10名が確定しており、5名が交渉中です。チャーターメンバーは25名必要ですので北R.C.の会員の皆様にも御協力をお願いいたします。以上御報告致します。

◎幹事報告 佐々木公和 幹事

- 2510地区の地区史お買上のお願いが来てますので、希望者は幹事迄ご連絡下さい。一部 1,300円です。
- 他クラブ情報 8月2日(金)函館五稜郭R.C. 早朝例会に変更です。

○ロータリーワールドが参っておりますので回覧致します。

◎親睦活動委員会 鈴木 伸一 副委員長

ニコニコBOX投入報告

- 森(秀) 会員……新年度もようやく1ヶ月過ぎました。
- 佐々木幹事……先週ガバナー訪問で皆様ご苦勞様でした。
- 南木 会員……本日の卓話に敬意を表して。
- 西尾 会長……ガバナー公式訪問無事終了しました。ありがとうございました。
- 三沢 会員……ロータリークラブ会計監査無事終了しました。
- 鈴木 会員……BOXに協力。
- 松見 会員…… ”
- 東田 会員……8月は会員増強月間ですので皆様のお知り合い、取引業者等、御紹介是非下さい。
- 大村 会員……順調にってます。ありがとうございます。
- 澤 会員……BOXに協力。
- 加藤(博) 会員……卓話でお耳をけがします。
- 村井 会員……天気が悪いのでBOXに協力。

◎会員卓話 「ホテルよもやま話し」 加藤 清郎 会員

平成4年に函館国際ホテルに入社してから5年経過いたしました。以前勤務していたニチロ時代と現在の仕事になってからとでは生活様式が衣・食・住を含めて180度変化いたしました。例えば、我が家でTVをみる場合でもホテルの仕事に関係する番組を見るとか、現在は食・住についても仕事中心の生活になっております。以前勤務していたニチロ時代には、売掛金とか在庫品の商品相場の上下、為替等に頭を悩まされたのと全く違う環境の変化であります。現在ホテル経営の仕事に従事していて一番心配事項であるのは、事故・天災・お天気です。気の許せない問題です。又経営者としての対応の決断力を求められる点も多々あります。前述した事故・天災の件でも即断即決を求められた点であります。南西沖地震の際に宿泊客に対する対応問題、新館オープン時の事故後における処置等の苦勞

は、やはり大変な決断力を要しました。これ等の2つはおそらく自分にとって忘れられない問題と考えております。その反対人関係の人脈の広がり、経営者としての特権でもあったと考えております。例えば皇族関係の方々とお話し出来た事です。以前常陸宮妃が宿泊された際に、漁火をご覧になりその御説明を若干したのですが、翌年の正月、歌会始めに「漁火や遠くかすかにゆれ動き函館の波静かなり」とお歌いになっております。又ヒゲの三笠宮殿下が御夫妻で宿泊されましたが大変気さくな方でありました。開られた皇族と言う意味あいからも、警備上の問題等再検討に値する点が多々あるような気がいたします。それによって一層楽しい旅が可能でしょう。又芸能人との付き合いも多くなった点も以前の生活環境と大きな違いです。いろいろな意味で面白い点もあります。一般的には皆さん紳士ですが中には個性が強いと言うか、一寸物事を勘違いしているのではと思える方もいます。当ホテルでは年2回のディナーショーを行っている関係上、いろいろな方の人間性を窺いしれます。その中でも一番印象に残っている方は、当ホテルの20周年記念行事にお招きした“森 瑤子”様です。講演の翌日、北海道カントリークラブで一緒にゴルフをいたしたのですが、帰京後礼状を頂き「散るまぎわの紅葉、実に見事でした。あんな風に人も散っていいと思うのですが……」と書かれてましたが亡くなられ、大変残念であります。

最後に今後の函館の観光対策について含蓄のあるお話しをされ大変有意義でありました。

### ◎第6回 GSE地区委員会報告

日時 6月3日(月) 午後6時～午後8時

出席者 地区役員：野口ガバナーノミニ、大橋地区財団カウンセラー、佐藤地区財団委員長

GSE委員会：青木功喜委員長、金井重博（札幌南）、星野恭亮（札幌東）、平柳俱仁夫（札幌手稲）、堀口郁夫（札幌モーニング）、中島 勉、森 秀樹（函館北）、畑中正義（苫小牧東、次年度委員）、小林英夫（小樽南・次年度委員）

派遣メンバー：小林 博チームリーダー、西野和秀、吉倉省吾、駒木根絵里、浜 克己

### 議 題

- 1) ローター財団のGSEプログラムについてのガイダンス  
野口GN、大橋カウンセラー、佐藤財団委員長により、GSEプログラムの概要と目的及び現状を説明して頂き、派遣メンバーへの餞の言葉とした。
- 2) 1996～97年のGSE派遣団員の挨拶と自己紹介を行った。  
(派遣団員退席)
- 3) 新旧GSE地区委員の引継の実施  
堀口委員退任の挨拶、小林、畑中新委員就任の挨拶の後、次年度の各委員の役割分担について、協議を行いそれぞれ決定をした。  
青木委員長：全般、財団セミナー、地区協議会、地区財団委員会、地区委員長会議  
金井副委員長：庶務、第5～6分区受け入れ  
中島委員：広報、第7～9分区受け入れ  
平柳委員：会計、第4分区受け入れ  
星野委員：渉外、第5分区受け入れ  
森委員：地区大会、第10～11分区受け入れ  
畑中委員：地区大会、第7～9分区受け入れ  
小林委員：地区大会、第6分区受け入れ
- 4) 派遣チームの研修について  
小林チームリーダーが中心になって月1回の研修を開始している。派遣の前に充実した研修を行って派遣チームの成果が得られるように努力している。函館から参加している浜団員については、研修の時間や曜日及び参加を2ヶ月に1回にするなどの配慮が必要と考え、小林チームリーダーにその運用を一任した。
- 5) 受け入れに関する件  
a) 青木委員長が地区協議会、地区財団セミナーの折りに受け入れ世話クラブへの協力をお願いして、了承を頂いたが具体的な活動を開始する時期に来ている。



堀口委員が過去3年間の地区委員としての経験から受け入れに関する資料を作成して次回の地区委員会に提出する予定。

- b) 小林チームリーダーがR I 第5690地区のガバナー、ガバナーノミニ、チームリーダーと懇談をし、第5690地区からのG S Eチームは5月10日(土)成田着に内定
- c) 当地区の受け入れのG S E研修プログラム案を今年の10月末頃までにR I本部へ報告する必要がある。
- 6) その他
  - a) R I 第7870地区 (アメリカ・ニュージャージー州) からG S Eに関する打診がある。
  - b) 6月15日の地区委員長会議には平柳委員が代理で参加する予定。
  - c) 次年度(1998年4月)に予定しているR I 第7570地区 (米国バージニア州) とのG S Eプログラムに関する準備を開始しなければならない。
  - d) 次回委員会開催日: 7月8日に予定し、主として受け入れに関して協議する。

◎ 出席報告

会 員 数	67名	出 席 率	函 館 北	7月17日	86.15 %
出 席	36名		函 館 東	7月16日	89.69 %
欠 席	31名		函 館	7月11日	90.56 %
他クラブ出席	20名		函館五稜郭	7月12日	100.00 %
出席合計	56名		函館亀田	7月15日	92.73 %
除 外 者	2名				

次回・8月14日  
プログラム

自主休会

8月21日 納涼家族会  
ハーバービューホテル 18時30分



The Weekly Report of Hakodate North R.C.

# 函館北ロータリークラブ会報

ルイス・ビセンテ・ジアイ 1996~97年度 国際ロータリー会長テーマ  
築け未来を—行動力と先見の眼で。

Build the future  
with action and vision



8月7日卓話 水嶋 清氏

《第1597回例会》 第7号 8月21日(水)

本日のプログラム

「納涼家族会」

ハーバービューホテル 18時30分

★会 長 西尾昌一 ★幹 事 佐々木公和

例会場: 函館国際ホテル 〒040 函館市大手町5-10 TEL 23-5151  
例会日: 毎週水曜日 12:30~13:30 事務所: 函館市大手町5-10 二子ビル3階 23-3870